

指定管理者による公の施設の管理状況評価（平成30年度分）

施設	名称	栃木市そのべ児童館
	所在地	栃木市菌部町2丁目14番9号
	施設内容	小型児童館
指定管理者	名称	社会福祉法人 栃木市社会福祉協議会
	所在地	栃木市今泉町2丁目1番40号
	主な業務内容	地域福祉事業・介護保険事業・障害者自立支援法に基づく事業

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	利用者アンケート数			100件以上	106件		
	利用者意見反映数			1件以上	3件		
	利用案内揭示数			4か所	5か所		
	利用者満足率			80%	92%		
	業務改善数			1件以上	3件		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	I	1.0	25	I	1.0	25
指定管理者コメント	<p>①施設の設置目的に基づき管理運営方針の明文化し、職員会議等で職員の理解を深めました。また、職員は有資格者の専門員を配置し、常日頃から資質向上を念頭に研修会等に積極的に参加・実施し、管理運営に携わってきました。</p> <p>②利用者に受付簿記入を求め、団体の利用申請は条例等に基づき承認するなど、公平公正な対応を行ってきました。</p> <p>また、全世帯に配布される広報とちぎに行事案内等を掲載し、平等性の確保を行っており、本会ホームページにも毎月の行事案内を掲載するとともに、事業が終了すると実施した内容や体験模様をホームページにて掲載し誰もが参加しやすい利便性を更に高めました。</p> <p>新規の利用者に対し出入口に閉館時間や休館日等の案内を、掲示板に行事予定、約束事などを子ども達にも分かりやすく揭示し、利用者の立場に立った使いやすい施設作りを心がけ実践してきました。</p> <p>また、すべての年齢を対象とした事業を総合的に計画し実施しました。</p> <p>③アンケートの結果から「満足」「やや満足」と回答した利用者は、職員の対応については92.2%、館内の遊具類は、92.2%となり、利用者から大変ご満足いただいております。</p> <p>なお、日頃から、出来るかぎり利用者とのコミュニケーションをとり、意見や要望を聴き、内容を精査検討しスピード感を持って改善等の対応をしました。</p> <p>④館内に利用者意見箱を設置し、広く利用者の意見を募ると同時に、ご意見・苦情については、本会苦情解決に関する規程に基づき対応し、利用者の立場に立った上で、検討しスピード感を持って適切な対応を行いました。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の運営方針に基づき、適正な管理運営を行っているものと評価する。 ・広報とちぎや社協のホームページを活用し、行事案内等掲載するとともに、行事後にもその様子や内容をホームページに掲載するなど、利用者が利用しやすく、また喜ばれる施設となるよう取り組んでいる。 ・毎年、利用者アンケートを実施し、児童館のあるべき姿である児童と職員が気軽に話せる環境作りや保護者との関わりが持っており、おおむね良好である。 ・児童館に寄せられた利用者からの意見や相談等については、利用者の話によく耳を傾け、説明を丁寧に行うことを心掛けている。 						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	利用者数		14,000人	13,735人			
	広報紙発行部数		2,400部	2,400部			
	新規事業数		2事業	8事業			
	地域との協働事業数		2事業	6事業			
	協働事業参加者数		延べ200人	延べ1,300人			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	I	1.0	20
指定管理者コメント	<p>①事業計画に基づき、記載された事業は、ほぼ全て達成した。 更に、年度中の要望に対応した新規事業を多数企画し実施しました。</p> <p>②広報とちぎや本会ホームページに毎月利用案内を毎月掲載し利用促進のためのPRに努めました。 また、毎月児童館だよりを200部発行し窓口や公共施設等で配布を行いました。 更に、館を利用したことがない方や、利用していても事業イベントに参加したことのない方のために、本会ホームページにてイベント終了後、工作や実施風景をアップすることにより利用促進に取り組みました。</p> <p>③記念日事業として、毎月2日間「ぺたぺた記念日」を開催し、誕生月のお子さんに対しては、記念写真をプレゼントするなど、利用者から大変好評を得ました。 新規事業としては、長寿園と共催にてやさしいピラティス講座を開催やミニ映画上映会を開催した。 また、館の魅力でもある、広いウッドデッキをより多くの方に利用して頂く為、夏季期間大きな日よけを設置しウッドデッキの利用促進に取り組みました。</p> <p>④第六地区コミュニティ推進協議会青少年部会と協働し、「音で遊ぼう」工作とギター演奏会を開催しました。 また、いまいずみ児童館との共催による音楽会の開催や、夏まつり、ぺたぺた記念日事業に学生ボランティアに協力いただき事業を実施しました。 その他、第六地区コミュニティ推進協議会・長寿園との第15回コミュニティまつりに、児童館ふれあいこども広場を設置し、せんべい焼き体験など伝承遊びの実施や、複合施設を生かし児童館夏まつりに長寿園にもブースを設け、高齢者との世代間交流を積極的に実施しました。</p>						
	施設所管課コメント	<p>・事業計画に基づき、おおむね事業が達成されたものと評価する。</p> <p>・行事のPRや新規事業の取組では、指定管理者ならではの視点で、現代の子育て中の母親たちが喜ぶ企画や、利用者増にもつながる出張型の児童館など魅力ある行事企画し、様々な年代の利用者を掘り起こしている。</p> <p>・老人福祉センターとの共催行事を開催したり、コミュニティセンターまつりで児童館内に広場を設置し伝承遊びをして楽しんだりするなど、児童と地域の方々との世代間交流により、児童の健全育成と地域の方々の生きがいに貢献している。</p>					

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	経費削減額		7,016円	19,435円			
	経費削減率		3%	9%			
	施設修繕数（小修繕含む）		3件	5件			
	備品等更新数		2件	3件			
	環境配慮		10件	24件			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	I	1.0	15	I	1.0	15
指定管理者コメント	<p>①指定管理料の収支手続きを適正に行うとともに毎月、市に利用状況報告書を提出しました。</p> <p>②職員は、常に経費削減を心がけ、節電・空調管理に努めました。簡易な修繕は、長寿園職員と協力し職員が実施しました。なお、季節の行事等の工作についても、トレーや空き缶などリサイクルを活用し経費削減を行い環境へも配慮しました。</p> <p>③再委託する際は、十分に必要性を吟味し、経費削減に努めました。</p> <p>④備品管理台帳を作成し、定期的に建物、設備の点検を行い、報告書を市に提出しました。</p>						
施設所管課コメント	<p>・指定管理料の収支手続きを適正に行っているものと評価する。</p> <p>・行事の工作を実施する際に、トレーや空き缶等を再利用するなど、エコ対策、経費節減に努めている。</p> <p>・空調機の温度管理や節水等に取り組んでいるが、今後も引き続き光熱水費等の節減を図られるようお願いしたい。</p>						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み							
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③	職員の福利厚生は充実しているか					
	④	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	人員配置数		4人		4人		
	研修会開催数		4回		9回		
	研修会参加者数		4人		9人		
	勤務時間数(1人当り)		38.75時間/週		38.75時間/週		
	労働基準の充足		100.0%		100.0%		
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①施設を管理する者に、防火管理者・社会福祉主事の資格を有する者を配置して施設全体の把握に努め、安全管理を徹底しました。その他の職員は、保育士や幼稚園教諭等、児童厚生員等の資格を持つ職員を配置しました。また、事業計画・報告は指定された日までに、また毎月の利用状況報告書を翌月10日までに提出し、適正な施設管理に努めました。 なお、管理運営体制に定められた4名を配置し、本会就業規程を遵守し、業務を忠実に遂行いたしました。</p> <p>②施設運営方針を理解するとともに、県児童館連絡協議会主催の研修会をはじめ、運営上幅広い研修会に参加し職員の資質向上に努めました。</p> <p>③全職員健康診断を適正に受診しました。</p> <p>④健康保険料、厚生年金保険料、各種税金について滞納はありません。</p> <p>⑤本会全体の財務状況は、介護保険事業利用者の減少に伴い赤字決算となるが、繰越金があることから組織全体の運営には支障はありません。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・館長に防火管理者、社会福祉主事の資格を有する職員を配置し、児童の遊びを指導する職員については、保育士や幼稚園教諭の資格を有する職員を配置しており、適正な職員配置を確保している。 ・必要な研修会に出席し、さらに指定管理者が主催する研修会に参加するなど、資質・能力の向上を図っている。 ・財務状況について、他事業の利用者減による赤字の影響が懸念される。 						

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	安全点検実施回数		12回	12回			
	非常通報点検		—	1回			
	事件・事故発生時の対応の適切さ		—	—			
	訓練実施回数		2回	14回			
	訓練参加者数		延べ80人	延べ106人			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅲ	0.6	12
指定管理者コメント	<p>①毎日の館内、月1回の施設全体の点検を行い安全管理を徹底しました。 また、来館する子どもたちに理解しやすいようにイラスト入りで約束事を掲示しました。</p> <p>②緊急時の対応方法を定めた危機管理マニュアルや消防計画を作成し、職員に周知徹底を図りました。 また、消防設備においては、年2回の点検を実施し、施設の管理瑕疵に係る児童安全共済に加入し、不測の事態に備えました。</p> <p>③老人福祉センター長寿園と合同での避難訓練を年2回実施し、避難経路や避難の手順についての訓練を合同避難訓練以外の毎月1回、合計10回実施しました。 合同避難訓練では、水消火器による消火訓練等を実施し安全対策を講じました。</p> <p>④個人情報は、本会個人情報保護規程に基づいた取り扱いを行いました。</p>						
施設所管課コメント	<p>・毎日の館内点検や定期的な施設全体の点検、また、館内全体の年2回の避難訓練や避難経路の確認を毎月実施するなど、本市の児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を満たしており、施設の適正な維持管理及び安全管理に努めている。</p> <p>・危機管理マニュアルを策定し、事故や災害に危機意識をもって備えている。今後も、児童が安心して安全に児童館を利用できるよう、安全対策を十分講じていただきたい。</p>						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	25	25
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	20	20
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	15
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	16	16
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	16	12
評価点合計	100	92	88
総合評価		A	A

第3次評価（選定委員会評価）				
評価	第2次評価点	選定委員会評価点	第3次評価点	第3次総合評価
選定委員会コメント				

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

◀ 別紙 ▶

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	平成29年3月期	平成30年3月期	平成31年3月期
資産総額	2,139,158,653	2,097,731,214	1,991,989,007
売上高	931,676,583	930,938,472	897,769,372
経常利益	△ 74,175,012	△ 103,683,087	△ 107,467,321
当期利益	△ 74,150,956	△ 103,605,695	△ 108,867,554
経常収支比率	92.7%	89.3%	89.3%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	平成29年3月期	平成30年3月期	平成31年3月期
経常費用	1,009,825,708	1,038,342,290	1,008,336,278
経常収益	935,650,696	934,659,203	900,868,957
経常収支比率	92.7%	90.0%	89.3%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

平成30年度における本会全体の財務状況は、前年度に続き介護保険事業利用者が減少したことに伴い、事業収入が減額し赤字決算となりました。繰越金があることから組織全体の運営に支障はありませんが、安定した基盤づくりのため、今後も健全な健全な経営に努めていきます。